

です。 集中力が大切切り総制作中。 学校祭行灯の

【教育目標】 すすんで学び 正しく判断する(知) 思いやりを持ち きびしさに耐える(徳) 命を大切にし 心身を鍛える(体)

令和3年9月24日発行 N

No. 6

「確かな学力と豊かな心について~学校評価の結果から~」

校長 寺 岡

弘

9月末となり令和3年度も半分が終わろうとしています。保護者の皆さまのご協力により、グーグルフォームを活用した前期の学校評価が終わり、無事学校評価がまとまりましたので簡単に項目を絞って報告いたします。 (完全版は後日お渡しします。)項目は「確かな学力」と「豊かな心」の2つです。

「確かな学力」につきましては、以前学校だよりでもお知らせいたしましたが、「家庭学習友の会を活かした家庭学習の習慣づくり」が大きな取組の一つです。

観点	項目	8月達成率 (今回)	12月達成率 (前回)
家庭	お子様は学年に応じた家庭学習の時間(1年生:1時間 2年生:1時間30分 3年生:2時間)を実行できていますか。	67.1%	61.8%
学習	学年に応じた家庭学習の時間(1年生:1時間 2年生:1時間30分 3年生:2時間)を実行できている。	51.3%	83.3%

学校評価の結果、家庭学習の生徒の自己評価が前回から30%程度極端に下がっています。家庭学習については学校でも計画段階から細かく指導していますが、取組に差があるのは事実です。特に学年が上になるにつれて家庭学習の提出が少なくなる傾向があります。確かな学力を身につけるためには、家庭学習は必須です。教師による「わかる授業」を進めるとともに、子どもたちには「わからなかったところを復習し、わかるようになる」ことが必要です。授業後にワークをやったり、それでもできなければ、わからないことを先生に確認したり、やり方はいろいろあります。ご家庭でも、お子様の状況を把握していただければと思います。

スマ	お子様はスマホやゲームの使用時間、SNSの使い方などについて、約束を守れていますか。	51.4%	60.0%	
ホ 等	スマホ、PC、ゲーム機の使用時間など、使い方について自分で制限できている。	56.6%	72.2%	

また、「スマホ等の使い方」の結果も気になります。約半数の生徒がスマホ等の管理ができていないことです。 保護者も生徒と同じ割合で回答しています。(信びょう性がありますね。)家庭学習時間が取れていないことと関係があるように思います。自分で計画的に、スマホ等コントロールできるように、今後していく必要があります。 これには、ご家庭の協力も必要です。是非、声掛けをお願いします。

道	道徳やいじめ撲滅集会の場面が、お子様自身の行動を振り返る良い機会になっていますか。		89.1%
徳	道徳の授業で、テーマ(内容項目)について考えを深めることができている。	89.5%	88.9%
思い	お子様に、相手を思いやる優しく大らかな心が育っていますか。	88.6%	92.7%
やり	自分は相手のことを思いやった言葉がけや行動に心がけている。	81.6%	87.0%

「豊かな心」につきましては、「道徳授業の推進」が大きな取組の一つです。学校評価の結果は、道徳、思いやりともに概ね満足できる結果になり、うれしく思っています。道徳授業では昨年から、自分の考えを友達と交流して、価値観を広げたりなど、考えを深めることを行っています。その結果が表れたと思います。また、思いやりにつきましては、登別中の生徒らしく、相手のことを思いやったやさしい気持ちが出ています。普段の生活の中で、例えば授業中にわからない生徒がいたら、わかる生徒が教えたり、部活動で先輩が後輩にやさしく教える姿があったり、本当に微笑ましい子どもたちを見ることができます。そんな姿を見ることができるのは教師としての喜びです。今後もそのまま育ってほしいところです。また、目には見えませんが、教職員全体で一人一人の子どもたちを見取り、関わっているところも大きいと思います。さらに、子どもたちを温かく見守ってくれるご家庭や地域の存在も大きいと思っています。

今後も登別中学校の子どもたちの成長のために、ご支援・ご協力をお願いいたします。

フロンティアリーダー養成アカデミーで学んだこと

9月11日(土) 土曜授業日に、2年生の関川詩織さんから夏休み中に体験した「フロンティアリーダー養成アカデミー」についての報告がありました。この体験は北海道教育委員会が主催しており、将来の地域リーダーを養成するために中高生を対象に毎年実施しています。当初発表は、全学年の前で報告する予定でしたが、緊急事態宣言が延長されましたので、2年生だけ体育館で、そのほかの学年はそれぞれの教室で視聴しました。保護者も生徒が持ち帰ったグーグルクロームを活用して10数名が視聴していました。報告会では、①学んだこと②SDGsについ



て③伝えたいこと がスライドで説明されました。特に②の SDG s について詳しく説明してくれました。2030年までに達成する目標が17あり、日常生活で意識してほしいことを細かく教えてくれました。生徒の感想にも、「自分たちはご飯をたくさん食べれていて当たり前のことだけど、世界にはその当たり前のない人たちが8億人もいることを知って悲しい気持ちになった。」「プラスチックごみのことで、1週間で、体内にクレジットカード1枚分入っていることを知って驚いた。」「SDG s の目標で自分にもできることをやってみようと思った。」「自分のためにも、地球のためにもプラスチックごみを減らしたいと思いました。」とあり、関川さんの「思い」は確実に伝わったと思いました。全校生徒の前で発表することは大変だったと思います。素晴らしい報告会でした。お疲れ様でした。

「発展途上国(タンザニア)での活動や文化の違い」~小越みずゑさんの講演から~

JICA (独立行政法人国際協力機構) が派遣する青年海外協力隊で、タンザニアで数学教師をしていた小越みずゑさんが発展途上国での活動や文化の違いについて教えてくれました。生活びっくり編では、停電は当たり前、洗濯はバケツで手洗い、シャワーはお湯なし、買い物はお金を持っている人は多く払う、バスは満員にならないと走らない、ごみは道路にポイ捨てだけど家ではきれい好き、など話されました。また、びっくり学校編では、小学校は7年・中学校は4年・高校は2年…と日本と学ぶ年限が違うこと、授業と授業の間の休み時間はなし、ノートは鉛



筆ではなくペンを使う、高校進学率は30%、窓ガラスは入っていないので毎日朝授業前に掃除を行う(机の上が砂だらけ)、チャイムはないので代わりに子供がタイヤのホイールをたたいて知らせる…。文化の違いを分かりやすく教えてくれました。生徒の声には「ごみをそこらに捨てたり、授業が急になくなったり、日本ではありえないことがあったけど、タンザニアに1回行ってみたくなった。」「タンザニアに学校行事がほとんどないのがびっくりしました。」「JICAの活動に興味が持てた。」とありました。タンザニアと日本の文化の違いなど、普段聞くことのできない話を興味深く聞くことができました。他国の文化を学ぶと同時に、(国籍ばかりでなく、性差や障がいなどいろいろな観点で)お互いを認め合える考え方になるといいですね。

	10 É	19日(火) 20日(水) 22日(金)	ダンス講習会② 立会演説会・投票 選挙管理委員会 公開研究会
1日 (金)	3年修学旅行(~3日)	23日(土)	土曜授業日
4日 (月)	衣替え期間 3年回復休業(~5日)		1年:職業講話
6日 (水)	清水丘オープンスクール(13時~)		2年:認知症サポーター養成講座
7日(木)	1 年生見学学習(洞爺湖方面)		3年:薬物乱用防止教室
8日 (金)	2 学年思春期教室	*	登別市バドミントン新人大会
9日(土)	ソフトテニス胆振大会(伊達市 ~10 日)		(~24⊟)
12日(火)	ダンス講習会①	25日(月)	3年保育実習①
13日(水)	職員会議 校内研修④	27日(水)	3年保育実習②
	あいさつ一声運動 選挙管理委員会	28日(木)	後期認証式 専門委員会
14日(木)	3年学力テスト(総合B)	30日(土)	室蘭大谷オープンスクール
18日 (月)	IBAテスト(英語テスト)	31日(水)	吹奏楽部定期演奏会